

技術職員実務経験証明書

年 月 日

(フリガナ) 氏 名	(生年月日)
(建設工事の種類) 工 事	(許可番号)
(建設工事の種類) 工 事	
(建設工事の種類) 工 事	
(建設工事の種類) 工 事	

(許可番号)

(商号又は名称)

(代表者名)



上記技術職員の実務経験について、下記のとおり相違ないことを証明します。

業種名	実 務 経 験 年 数				使用者の商号又は名称	実 務 経 験 の 内 容			
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		
	年	月	～	年	月	年	か月		

(記載要領)

- 1 この証明書は、技術職員名簿に記載した者のうち、実務経験に該当する者がいる場合に必ず提出すること。
- 2 「業種名」欄は、申請する業種を記載すること。
- 3 「実務経験年数」、「使用者の商号又は名称」及び「実務経験の内容」欄は業種ごとに記載し、当該業種の最終行に経験年数を合計すること。
また、二業種以上の実務経験を記載する場合は経験期間を重複して計算しないこと。
- 4 「実務経験年数」欄は、使用者ごとに1行ずつ記載すること。
- 5 「実務経験の内容」欄は、「実務経験年数」欄に記載した期間内に携わった主な実務経験の内容が分かるよう具体的な工事の名称を記載すること。

記入例

技術職員実務経験証明書

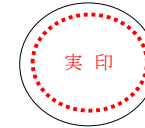
※技術職員ごとに作成してください。□

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

(フリガナ) 氏 名	イズミ ハナヨ 和泉 花代	(生年月日) 昭和35年8月23日
(建設工事の種類)	土木一式	工 事
(建設工事の種類)	建築一式	工 事
(建設工事の種類)	解体	工 事
(建設工事の種類)		

証明者は、原則として、当該技術者が勤務する法人の代表者又は個人の事業主等。

実印を押印してください。



(許可番号) ○○-○○○○○

(商号又は名称) 株式会社 和泉市●△■

(代表者名) 代表取締役 和泉 太郎

業種ごとに、経験年数の合計を記載してください。
年数の合計が、技術者名簿(市内・準市内業者用)の年数と合致していることを確認してください。
実務経験年数、実務経験の内容については、できるだけ詳細に記載してください。

上記技術職員

業種名	実務経験年数	使用者の商号又は名称	実務経験の内容
土木一式	平成 1 年 1 月 ～ 平成 4 年 12 月 4 年 0 か月	株式会社▲▲土木	××線道路整備工事
	平成 27 年 4 月 ～ 平成 30 年 6 月 3 年 2 か月	大阪○○建設株式会社	○○水路改修工事
	計 11 年 2 か月		
	※①の合計年数が②になります。		
建築一式	平成 5 年 1 月 ～ 平成 5 年 8 月 年 8 か月	株式会社■建設	A邸新築工事
	平成 14 年 6 月 ～ 16 年 12 月 2 年 7 か月	△△建設株式会社	○○新築工事
	計 11 年 3 か月		
解体	令和 2 年 1 月 ～ 令和 2 年 12 月 1 年 0 か月	株式会社××	○○ビル解体工事
	計 1 年 0 か月		

技術者名簿(市内・準市内業者用)の「解体に関する資格欄で「解体工事の実務経験1年以上」にチェックを入れた場合は、解体の実務経験(1年以上)を記載してください。

実務経験の内容は、民間・公共を問いません。

1業種につき、実務経験の合計年数が10年以上となる必要があります。

2業種以上の実務経験を記載する場合は、それぞれの実務経験期間が重複しないように注意してください。

実務経験の内容は、個人名を「A」にする等、個人の氏名が特定されないように記載してください。

(記載要領)

- この証明書は、技術職員名簿に記載した者のうち、実務経験に該当する者がいる場合に必ず提出すること。
- 「業種名」欄は、申請する業種を記載すること。
- 「実務経験年数」、「使用者の商号又は名称」及び「実務経験の内容」欄は業種ごとに記載し、当該業種の最終行に経験年数を合計すること。
また、二業種以上の実務経験を記載する場合は経験期間を重複して計算しないこと。
- 「実務経験年数」欄は、使用者ごとに1行ずつ記載すること。
- 「実務経験の内容」欄は、「実務経験年数」欄に記載した期間内に携わった主な実務経験の内容が分かるよう具体的な工事の名称を記載すること。